

一人は万人のために  
万人は一人のために

3月18日現在  
組合員数 47,937人  
出資金 14億4,989万円

# からだをくらし

発行所  
**広島医療生活協同組合**  
〒731-0121 広島市安佐南区中須二丁目19-6  
TEL(082)879-8124 FAX(082)879-8182  
機関紙編集委員会  
ホームページ  
http://www.urban.ne.jp/home/hirocoop/index.html  
組織部Eメール sosikibu@urban.ne.jp

## Let's go けんこうチャレンジ2015を振り返ってみました!

- 生活習慣を見直し、健康習慣を身につけ、広島県民の健康寿命を延ばします。
- 子どもから大人まで幅広い世代に健康づくりの輪を広げます。

〈期間〉2015年10月1日～11月30日

### けんこうチャレンジ2015とは

けんこうチャレンジとは医療福祉生協の健康習慣「八つの生活習慣と二つの健康指標」を普段の生活の中で実践するための取り組みです。二〇一五年度は十月からスタートしました。子どもから大人まで誰もが楽しみながら健康づくりの習慣を身につけることを目的に、家族や友人、地域の皆さんと健康増進を目指す取り組みにちなりました。八項目のチャ

### おかげで生活がよりよくなりました!

二〇一五年度からの新たな取り組みとして広島県生活協同組合連合会の主催とし、広島県内の三つの医療生協(広島医療生活協同組合・中央保健生活協同組合・福山医療生活協同組合)が合同で実施しました。健康寿命を延ばすような大きな運動とし、医療福祉生協の知名度を上げることを目指しました。後援をいただいた自治体・団体は広島県、広島県教育委員会、広島市、福山市などの九市町と三つの教育委員会や広島県農業協同組合中央会(JA広島中央会)です。生協ひろしま、JA、公民館など他団体にも配布し県内に広がりました。各生協では組合員・職員を中心に地域の中で呼びかけ、地域とつながるチャンスとして期間の途中で継続されているか声かけしたり、報告カー

ドを出された方に記念品を手渡しするなど顔の見える取り組みとしました。

#### 目標

広島県全体五、〇〇〇人

#### 申込人数

広島医療生協二、五〇〇人

#### 実施人数

全体約三、八〇〇人

#### 実施人数

全体約二、三〇〇人  
広島医療生協一、〇三九人

#### 「チャレンジの感想」

「チャレンジが終わっても継続しようと思います。」

「目標があると頑張れると思えた。」

「習慣にすることができました。」

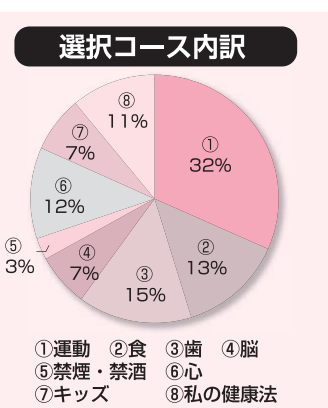
「グループでチャレンジすることで続けることができました。」

「健康は自分でつくることだと実感した」などたくさんの方の感想を頂きました。

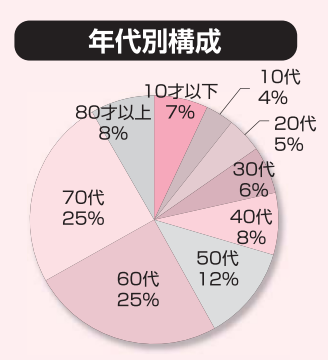
### 広島医療生協の結果発表!

選択コースの人気一位は運動・二位歯、三位食でした。皆さんそれぞれ自分に合った健康法を実践されていました。チャレンジの参加者の年齢構成別では九歳以下7%、十歳代4%、二十歳～三十歳代11%、四十歳～五十歳代20%、六十歳～七十歳代50%、八十歳以上8%でした。六十歳代、七十歳代の方の参加

選択コースの内訳



が多く、関心の高さが表れました。キッズチャレンジの取り組みも子どもの生活習慣を楽しく身につけるのに役立ちました。質問項目ではよくできた、できた77%、時々できた20%、難しかった3%、チャレンジできなかった期間は46%、60日間49%、0～15日間8%などの結果でした。



▲たくさんの方が報告カードが届けられました。ありがとうございました



▲けんこうチャレンジ表紙、キッズ用シート、大人用シート

### 私もあなたもチャレンジをすすめる人!健康づくりの輪を

#### ◇来年度に向けて

2016年度は参加団体を広げ、共催に生協ひろしまが加わり、広島県やJA広島中央会も現在オプザーバーで実行委員会に参加され進んでいます。

厚生労働省によると広島県内の健康寿命は男性70.93歳(全国33位)、女性72.84歳(同46位)です。2016年度のけんこうチャレンジは健康寿命を延ばすチャンスとすることや、新たにつながりづくりや地域の活性化をテーマに加えてさらなる広がりを目指します。

### 総代会の招集

定款第50条に基づき、第57回通常総代会を招集します。広島医療生協理事長 尾野 展昭

とき 6月11日(土) 13時30分～ ところ 佐東公民館 2Fホール 安佐南区緑井6丁目29-25

### 虹の旗

今、介護保険から要支援1・2の方のヘルパーとデイサービスの利用を思いにくくしようとしているのをご存知ですか? 現在広島医療生協の各支部では「つながりマップ」作りに取り組んでいます。支部内の「組合員さんの家はどこ?」「集会所・病院やスーパー等の施設はどこにあるの?」と話しながら地図にそれらを記入する作業をしています。そして生活圏域での「たまり場」作りを目標にして活動しています。誰でも気軽に歩いて、おしゃべりしたり、お茶を飲んだり出来る場所が近くにあるといいですね。私達と一緒にそんな場所を作りませんか!?



(S・H)

# へー！ そうなのか

～医療ソーシャルワーカー・  
ケアマネージャーのつぶやき～  
広島共立病院 医療福祉相談室  
医療ソーシャルワーカー 山地 恭子



## 入院中の食事代負担が増える！

四月は制度改正が多  
くある時期です。入院  
中の食事代が一部の方  
は上がりますので、ご  
注意ください。

表のように、上がる  
のは「一般所得」世帯。  
つまり「住民税課税世帯」  
の方です。一食二六〇  
円から三六〇円になり  
ます。二年後には四六  
〇円になる予定です。

入院される際、六十  
九歳以下の方は保険者  
に「限度額適用認定証」  
を申請し、医療機関の

窓口にご提示ください。  
平成二十七年一月から  
区分が五段階になりま  
した(ア～オ)。この認  
定証を見て、一カ月の  
医療費上限額、住民税  
課税世帯か非課税世帯  
かを医療機関で判断し、  
医療費、食事代を請求  
します。高齢者の場合、  
非課税世帯であれば「限  
度額適用・標準負担額  
減額認定証」の証明を  
区役所で受け、医療機  
関の窓口にご提示して  
ください。高齢者の場合、

課税世帯であれば発行  
されませんので、「対象  
になりませんよ」と言  
われた方は、課税世帯  
だと理解してください。  
入院すると高額な負  
担になるのは確かですが、  
医療費、食事代以外の  
部屋代(差額室料)、そ  
の他実費負担のオムツ  
代などで高額になって  
いることがほとんどです。  
医療福祉生協である広  
島共立病院では部屋代  
は頂きませんので、ご  
安心ください。

	平成27年度まで	平成28年度	平成30年度
一般所得	260円	360円	460円
低所得Ⅱ	210円	据え置き	据え置き
低所得Ⅰ	100円	据え置き	据え置き

★低所得Ⅱ：住民税非課税世帯  
低所得Ⅰ：住民税非課税で一定所得以下

二月二十八日、安佐  
南区の高取団地で、戦  
争法の廃止を求める署  
名行動が行われました。  
遠くは安芸太田町や廿  
日市市から参加された  
方を含め七十一人がペ  
アをつくり、約六五〇  
戸を訪問しました。戦  
争法の危険性を訴え、  
住民の一人ひとりと対話  
二四六筆もの署名を集  
めました。この行動は「ス  
トップ！戦争する国づ  
くり 安佐地区市民アク  
ション実行委員会」と  
他団体の共催によるも  
のです。

行する中、高取第一公  
園での意思統一では、「三  
月末に戦争法が施行さ  
れると、自衛隊が南ス  
ーダンの地で人を殺し、  
殺される関係が現実の  
ものとなります。それ  
を防ぐためには二〇〇  
〇万人の署名を積み上  
げることが大切です。  
今日の行動を皮切りに  
団地での対話運動を全  
県に広げましょう」と  
の挨拶がありました。  
その後三十一班が一軒  
一軒を訪問しました。  
当日の行動に先立って、  
事前に訪問を知らせる  
メッセージを片面に載

せた署名用紙を配布し  
ていた効果で、すでに  
家族全員の署名を揃え  
て待つておられる方、「戦  
争を経験しているの  
戦争法は絶対反対」、「戦  
争だけはやってはいけ  
ない。孫がいるので心配」、  
「被爆者なので悲惨さ  
はよくわかってい」と、  
すぐに署名に応じてい  
ただける方、「安倍の地  
元の出身で親も知って  
いるが、安倍はいけん。  
大嫌い」と言って署名  
用紙を預かってもらえ  
る方ありで、有意義な  
取り組みとなりました。

### 〈戦争法の廃止を求める2000万人統一署名〉 (3月16日までの到達)

	1月	2月	3月16日まで	1～3月合計
地域支部合計	534	971	441	1946
事業所合計	1458	492	14	1964
総合計(支部+事業所)	1992	1463	455	3910

目標2万筆です！  
もうひとまわりの  
声かけをお願いします。



## 病気をする前より健康的に、いきいき生活できる メディカルフィットネス共立の会員様、森一夫さんにインタビュー



86歳  
まだまだ  
やれる！

Q. メディカルフィットネス共立で  
運動を始めたきっかけは何で  
すか？

A. 狭心症の術後、継続的な運動を続  
けるために7年前に入会しました。  
病院と連携しているので安心して  
います。



1番の  
お気に入り！

Q. 現在行っている運動内容を教え  
てください。

A. 有酸素運動は60分、筋力トレー  
ニングを7種目行っています。入会  
時よりも重たい重りで運動でき  
るようになり、旅行先でも長く歩け  
るようになりました。



足腰には  
自信が  
あるぞ！

Q. 週に何回のトレーニングで1回  
あたりの運動時間はどれくらい  
ですか？

A. 運動は週に3～4回。月に13回を  
目標にしています。1回の運動時  
間は1時間30分くらいです。



継続は  
力なり！  
健康の為に  
続けていこう！

Q. 運動を続けて日常生活の変化は  
ありましたか？

A. 脊柱管狭窄症で苦しんだ6年間、  
今ではすっかりその痛さから解放  
されました。運動のおかげだろ  
うと感謝しています。今では運動が  
生活の一部となりました。

1週間のお試し体験大募集!! 1,000円で1週間施設を使い放題!

新規会員募集中!!

メディカルフィットネス共立と一緒に運動を始めてみませんか？ 初めての方も安心して運動を始めていただけるよう、しっかりサポート致します！詳しくは、お電話にてお問い合わせ下さい♪ TEL 082-879-1126

# 広島医療生活協同組合

## 第57回通常総代会 第1号議案ダイジェスト

# 二〇一五年度のまとめと二〇一六年度方針

### 第一章 私たちをとりまく情勢

#### 1 岐路にたつ平和憲法 立憲主義への破壊

「安全保障関連法」は戦争法が强行採決で成立しました。戦後六十年余にわたる「憲法9条のもとでは集団的自衛権を行使できない」という政府の憲法解釈を、「内閣の勝手な判断で一八〇度覆す」という立憲主義の破壊が行われました。戦争法の施行により、自衛隊が戦後初めて外国人を殺し、戦死者を出す現実的な危険が生まれています。また、安倍首相は9条明文改憲や「緊急事態条項」創設を夏の参議院選挙の争点とすることに意欲を示しています。

#### 戦争法廃止へ

自衛隊が参加戦争法案に反対する市民の運動は法案成立後も衰えることなく「民主主義と立憲主義を取り戻す」の一点での共同がすすみ、戦争法廃止の二〇〇〇万人署名など国民運動が広がりをみせています。

#### 2 貧困化がすすむ日本 社会保障費削減

地域医療構想は入院機能を「高度急性期、急性期、回復期、慢性期」の四つの医療機能に分けて、策定が義務づけられているものです。高齢化率がピークを迎える二〇二五年を目標に、病床削減により入院から在宅へ患者利用者を誘導し、医療費抑制をすすめるものです。安倍政権は、さらに社会保障の伸びを三年間で二五兆円に抑える方針に基づき、毎年一兆円〜八千億円にのぼる自然増を、四四二億円で抑え込む方針です。そうしたなかで、安倍政権は二〇一七年四月から消費税率を10%に引き上げを予定しています。「軽減税率」の導入、食料品の税率を8%に据え置いても低所得者ほど重い負担となる消費税の逆進性はむしろ拡大します。

#### 格差と貧困の広がり

教育、住宅、介護、保育、これらすべてを市場原理に任せる政策の結果、格差と貧困が広がり、収入が著しく少なく十分な貯えもなく孤立している高齢者が予期せぬ医療や介護の支出などによりひびく生活に追い込まれる「下流老人」が社会問題となり、日本の相対的貧困率は16.1%と、年を追うごとに悪化し、OECD(経済協力開発機構)加盟三十四カ国の中で下位から六番目、一人親家庭の貧困率は54.6%、OECD加盟国で最悪となっています。

#### 3 広島市・広島県の状況 広島市は大型開発優先

広島市は都市機能の充実強化を名目に、広島高速5号線建設や広島駅周辺の開発事業を加速させています。高速5号線はトンネルの工法を変更するために、事業費を当初予算の二・三倍の二三五億円に増額しました。社会保障の分野では広島市が発表した子ども医療費補助制度は、入院が中学三年生まで、通院は小学三年生までに拡大するもので一歩前進です。しかし、一部負担金が就学前の六歳児は四倍、発達障がいの子小学二年生までは六倍に増える見直しとなっています。

#### 広島県は大幅な病床削減

広島県は地域医療構想の素案をまとめ提示しました。広島県内にある現在の三五、二四八床の病床を病床機能の分化・連携を図ることにより二八、六四床以上とし、最大六、六三四床(18%)の病床削減の可能性を示唆しています。入院から在宅へ患者利用者を強力に誘導するために大幅な病床削減を行うとしています。これが現実化すれば新たな医療難民、介護難民が生まれるのは必至です。

### 第二章 二〇一五年度のまとめ

#### 1 豪雨土石流災害支援の活動

広島市では豪雨災害復興まちづくりアクションが策定されました。砂防堰堤建設や八木・長束線計画での立ち退きやその補償などが被災者の声を行政に反映させることが引き続き求められます。

#### 2 理念を共有した人づくり 協同の取り組み

医療福祉生協の通信教育は新設された「医療福祉生協の地域包括ケア」コースでは一一二名が受講しました。全体では二八〇名(昨年比131%)が受講しました。認知症サポーター養成講座を中堅職員対象に二年ぶりに開催しました。

#### 3 健康づくり

健康チャレンジは県内の三つの医療福祉生協が共催し、広島県生協連を主催団体とし、昨年比143%の一〇三九件の実施となりました。

- 健康チエックサポーター養成講座では三十名が受講し、新しい健康チエックや改訂された「医療福祉生協の健康習慣」の普及につなかりました。
- 全国24時間蓄尿塩分調査に四十八名参加しました。
- 「あいづべ体操」や「すこしお生活」、「医療福祉生協の健康習慣」の普及に努めました。

#### 4 医療福祉活動

健康ウォークは春と秋に二回実施しました。

- 大気汚染全国測定調査(NO<sub>2</sub>測定)に二十九支部、一七四カ所が参加し取り組みました。
- 三年目を迎える「一万人大腸がん検診」の取り組みは、郵送による回収が困難となったことなどで●件にとどまりました。

#### 5 病院機能向上

二〇一四年九月一日に新病院が開設し一年半が経過しました。診療の四本柱である急性期医療、回復期リハビリテーション、がんの緩和ケア、健康増進を通じて、地域住民や地域医療機関から信頼される取組みを実践してきました。

- HPH(健康増進活動拠点病院)活動の一環として六月にルウエオスロで行われたHPH国際カンファレンスに当院から二名が参加しました。
- 手術件数九六〇件。旧病院から二・三倍の件数となっています。
- 新入院患者数は三、三九三人で年間目標の110%の到達でした。
- 病床利用率88.7%、平均在院日数(調整後)12.6日(計画差一〇.六一日)でした。
- 救急車受入れは一、二六二件(前年差十八六件)でした。

#### 6 歯科の発展

第二診療所の建設に向けて、歯科の管理会議で検討をスタートしました。

- 往診は一〇〇件近い件数に上っています。

#### 7 診療所の活動・訪問系介護事業の活動

内科医師体制の困難は診療所の医療活動にも影響を与えました。協同診療所が七月末で当面休診となり、沼田診療所は十一月から午後診療がすべて休診となりました。津田診療所やあすなろ生協診療所も内視鏡検査体制の縮小が継続しており、内科医師体制が診療所活動の継続を左右する状況が続いています。

- あすなろ生協診療所では県生協連・生協ひろしま(自修館)との三者懇談を立ち上げ、交流を行いました。
- メディアカルフィットネス共立を七月に拡大移転しました。

二〇一四年度末の原爆被爆者は前年度より九、二〇〇人減の一八三、五〇〇人となりました。当生協は被爆者健診四、一四七件(広島市全体の4.9%)被爆二世健診は一、八二五件(広島市全体の28%)を実施しました。

- 原発事故被災者への出張甲状腺エコー体験を三回実施しました。
- 広島共立病院で広島民医連被爆対策委員会主催の第三回原発事故健康相談会(甲状腺エコーと血液検査)を実施して二十八人が受診されました。

#### (五) 医療と介護の連携強化

二〇一五年六月に協同シヨートステイを旧広島共立病院東館二階に拡大移転(九床→三七床)しました。

- 旧広島共立病院東館三階は協同診療所休診に伴いデイケアを移転し広島共立病院の事業として継続して取り組みました。

#### (六) 介護分野の具体的な事業と運動

二〇一五年六月に協同シヨートステイを旧広島共立病院東館二階に拡大移転(九床→三七床)しました。

- 旧広島共立病院東館三階は協同診療所休診に伴いデイケアを移転し広島共立病院の事業として継続して取り組みました。

#### (七) 障がいのある人、子供への支援

障がいのある人の働く場の提供と職場の受け入れ環境の整備

- 障害者雇用を継続しました。
- 就園前や出産前後などの幅広い子育て世代への支援を行うための子育てサロンを月一回開催しました。

#### (八) 組合員の事業参加

二〇一五年十月には、新たにメディアカルフィットネス共立に利用委員会が立ち上がりました。

- 病院探検隊は、八月に診療所、六月に広島共立病院で実施しました。
- 今年度は、ボランティア組織のあり方について論議を継続していきます。

地利用は、小規模多機能居宅介護に広島市の認可を受け二〇一六年十二月開設を目指して取り組む事になりました。

- 二〇一五年介護保険改定への対応
- 広島民医連に結集し市議会議員、県議会議員と懇談し、介護保険制度改定の問題点を明らかにし、改善を要求しました。また総合事業をはじめ地域包括ケアシステムをめぐる広島市の動向等を聞き、総合事業開始に伴い軽介護度の利用者が現状並みのサービスが継続できるように提言しました。

#### ② 二〇一五年介護保険改定への対応

新総合事業に関して県生協連に結集し、生協ひろしま・中央保健生協・広島医療生協と広島市担当課との懇談会を開催し、情報交換や生協活動のPR、協議体への参加要請などを行いました。

- ③ ひとりぼっちの高齢者をつくらない取り組み
- 「こんな居場所あったらいいね交流会」として在宅介護者の集いを開催しました。
- 「たまり場作り交流会」を開催しました。

#### ① 障がいのある人、子供への支援

障がいのある人の働く場の提供と職場の受け入れ環境の整備

- 障害者雇用を継続しました。
- 就園前や出産前後などの幅広い子育て世代への支援を行うための子育てサロンを月一回開催しました。

#### ② 組合員の事業参加

二〇一五年十月には、新たにメディアカルフィットネス共立に利用委員会が立ち上がりました。

- 病院探検隊は、八月に診療所、六月に広島共立病院で実施しました。
- 今年度は、ボランティア組織のあり方について論議を継続していきます。

5 明るくまげろ

(一) 平和と憲法、社会保障の取り組み

① 原水爆禁止運動への貢献

● 被爆七〇周年となる原水爆禁止世界大会へ三十五人が参加しました。

● NPT再検討会議へ理事二名が参加し、署名・募金活動にも取り組みました。

② 被爆・終戦七〇周年で地域に残る戦争体験の掘り起しと継承

● 被爆体験記「力に灼かれて」を発行しました。

● 「平和のつどい」は夏、冬に開催しました。

③ 憲法を守り、戦争法反対の取り組み

● 憲法違反の戦争法(安保法制)反対の活動に取り組みました。生協として安佐地区市民アクションに参加し、計四回に渡って「戦争をさせない国」を目指した集會デモ行進で総数約五〇〇人の参加でした。戦争法廃止の二〇〇〇万人署名は目標の二万筆に対して三九二〇筆の到達でした。(三月十六日現在)

● 九条の会安佐地区ネットワークの会と協同して、9の日宣伝署名行動に取り組みました。

④ 社会保障を守る取り組み

● 社会保障改悪反対署名やマイナンバー制度学習会を開催しました。

(二) 明るくまげろの活動

① 「災害に強くなろう」をめざします

● 一支部一要求運動に取り組み、土砂災害マップを作成し、確認した支部もありました。

② 高齢者運動の発展をめざす

● みんなで老後を考える会(かがやく会)で七タウオーク四十人、日本高齢者大会(和歌山)二十一人の参加で成功に貢献しました。

● つながりマップを作る中で、一人暮らしの高齢者を把握し、つな

がりを作ろうとする取り組みが進みつつあります。

(三) 担い手つくりと地域連携

● 「くらしの学校」の開催は一支部に留まりました。

● 各地域において、地域包括支援センターとの協力共同が進みつつあります。社会福祉協議会との懇談はこれからの課題です。

● 無料低額診療事業は生協全体で四十二件の利用があり、総額二

三二万円の診療費免除でした。無料低額診療事業の利用をひろ

げるための地域訪問や学校訪問には、取り組みませんでした。

6 組織つくり

(一) 医療福祉生協のネットワーク

二〇一五年度は、「医療福祉生協の地域包括ケアとは?」、「つながりマップ研修会」、「つながりマップ交流集会」、「いのちの章典」つながりづくり実践交流会」と年間通して医療福祉生協の地域包括ケアについて学び、交流、実践してきました。

● つながりマップは、三十一支部中、二十五支部が作成し、機関紙手配り整備や社協との懇談、地域包括支援センターへの働きかけ等が

始まりました。

① 居場所つくり

● サロンやたまり場が十四カ所と徐々に広がっています。

● 南館は、「虹の会館」として階は「虹の会館」と命名し、地域サロンとしてのワークスペース喫茶・介護予防体操、心の止まり木サロン等が始まり、夏には、「夏休み宿題応援隊」も実施されました。

② 計画的な担い手つくり

● 支部の運営委員は、新しい担い手の広がりがあります。

● 他団体や町内会などあらゆるつながりを声かけ、共に地域づくりをする仲間として連携することが求められています。

③ 機関誌配達ルート

● 又と医療福祉生協と組合員をつなぐ架け橋として大きな役割をはたしています。また一部地域では、安否確認の声かけも進んでいます。

(二) 生協を強くする取り組み

① 組合員ふやし 二五〇〇人の組合員増やし

● 今年度は生協強化月間事務局体制を立ち上げペア職場との共同を重視しました。特徴として個人加入が進んだこと、病棟や各診療所では、しくみとしての組合員増やし定着してきました。

● また、民主商工会等、友好団体との連携も進みました。しかし新しい層への働きかけは十分には出ていません。

② 増資活動 目標一億五千万円・純増五〇〇万円

● 今年度は、「わくわく増資」と銘打ってキャンペーンを行い一億一千万円を超える出資金が増えましたが、出資者の高齢化等により一億円を超えるかかってない減資となりました。

③ 班会開催・班つくり

● 一五〇〇回・六〇班

● 今後、班やサークルを地域の「くらしの助け合い」の場として再確認し、班を基礎にした支部の活動を今以上に展開する必要があります。

● また地域包括ケアに向け地域に開かれた班・サークル活動として位置付けることが必要です。

④ 支部つくり

● 支部結成には、至りませんでした。準支部となった長楽寺・上安地区へ支部復活への働きかけや高陽西支部の分割、白木地区の組合員の地図落としが進んでいます。

(三) 広島医療生協 創立五〇周年にむけて

● 九月に実行委員会立ち上がり、健康まつりは五〇周年企画一環として三月二十七日に実施しました。

7 経営・マネージメント

● 事業活動では、経常剰余は三億六千万円の赤字でしたが予算を上回りました。新病院開設二年目としてさらなる飛躍が求められる状況でしたが、十分な前進には至りませんでした。

● 事業キャッシュフローの到達は二億六二〇〇万円、事業を維持するための投資額(リース料+通常設備投資)引いたフリーキャッシュフローは、一億四〇〇〇万円

● 長期借入金元本返済額に短期借入金返済予定額の合計約二億七〇〇〇万円及ばず、その分現預金が減少しました。

● ISO9001マネージメントシステムが二〇〇八年版から二〇一五年版への改定が提示されたため、品質マニュアルの改定作業チームを組織し、検討を開始しました。

● 生協県連で介護事業を中心とした協同組合間の協同事業をすすめる機構が作られ、生協ひろしま、中央保健生協、当生協で担当者

を配置しました。

● 旧広島共立病院の本館を解体し、二億二千万円をかけ、駐車場の整備と既存施設の改修を行いました。

(二) 専門職の確保と養成

● 二〇一五年度の新入職として看護師十四名、理学療法士一名、作業療法士一名、臨床検査技師一名が入職しました。

(三) 介護事業を担う人材の確保・養成

● 主任ケアマネージャーの育成

● ケアマネージャー交流会議を行いました。

● 生協内、生協外の研修・人事交流をしました。

● 広島医療生協の介護・福祉部門で働く職員の交流・学習を推進し質を高める組織として広島医療生協福祉職部会を十月に設立しました。

● 新規事業展望や制度改定で重視される認知症介護実践者研修等について二名が受講することができました。

※年間到達数値は二月末までのものです。

第三章 二〇一六年度方針

広島医療生協の理念

ともに組合員として生協を担う地域の人びとと職員が、さまざまな人たちと手をつなぎあい、力を合わせて、保健・医療・福祉・介護のねがいをかなえます。

広島医療生協の使命  
地域まるごと健康づくりをすすめる、いのち輝く平和な社会の実現をめざします。

二〇一六年度基本方針(品質方針)

- 一 誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざして医療福祉生協の地域包括ケアを広げます。
- 二 事業運営の力量を高め、四億円以上の事業キャッシュフローを確保し、経営の安定を図ります。
- 三 医師の確保を生協あげて取り組み、理念を共有する組合員の育成をすすめます。
- 四 様々な人びとと力を合わせ、権利としての社会保障と戦争をしない国を守り抜きます。

1 医療福祉生協の地域包括ケアの実現

「住宅・医療・介護・予防・生活支援の切れぬない事業と活動を地域連携のなかで実践します。」

● つながりマップを活用し、生活圏域での支部を単位に、居場所づくりなどを通じて安心して暮らせるまちづくりに貢献します。

● 各支部でのつながりマップのとりくみ、成果を持ち寄り、活動交流やさらなる普及をすすめます。

● 居場所づくりでは空家の活用、

認知症カフェの開設、地域の生活センターとしての診療所の機能を活かした居場所づくりに取り組みます。

● 各支部が対象となる地域包括支援センターとの連携をすすめます。特に安佐・安佐南地域、東原・祇園東地域で地域ネットワークづくりの典型をつくり他地域へ普及します。また、各自治体が提示するサロンや認知症カフェなどの新総合事業への手あげを検討します。

# 広島医療生活協同組合 第57回通常総代会 第1号議案ダイジェスト

## 2 「いのちの章典」を 実践する人づくり

「医療福祉生協の地域包括ケア」の「いのちの章典」を実践する組合員の育成に取り組みます。

- 地域組合員の教育方針の協議をすすめます。

## 3 豪雨土石流災害支援の活動

- 広島土石流災害対策現地連絡会に結集し、被災者や地域の要求をつかみ、生活再建に向けた支援、地域でのつながりづくり、まちづくりをすすめます。

## 4 健康ひろ

すべての世代を対象にした健康づくり運動、健康寿命を延ばす取り組みを行います。

- 健康チャレンジは、広島県生協連の所属団体や他団体や広島県など行政との連携を強化し、子どもチャレンジも普及します。
- 「すこしお生活」の普及・実践をすすめます。
- 第二十八回「健康づくり学習」を開催します。
- 保健大学の学習内容を検討し、開講します。

## 5 医療福祉活動

「医福食住の切れ間ない事業をすすめる、地域の願いに応えます」

(一) 病院機能向上

- 急性期医療、回復期リハビリテーション、がんの緩和ケア、健康増進の実践を通じて、地域住民や地域医療機関から信頼される病院づくりに引き続き取り組みます。また、地域包括ケアシステムへの参加を検討し、在宅支援、施設後方支援を担う機能を定着させ、無差別平等の地域包括ケアを実践していきます。

- 地域連携を重視し、「二次救急医療機関」「地域医療支援病院」として役割をはたします。

(二) 歯科の発展

- 往診の単位を増やし、地域の要求に答えていきます。
- 第二歯科診療所建設に向けて体制を整え、具体化を進めます。

(三) 診療所の活動

訪問系介護事業の活動

- 診療所の五年後のありたい姿、ビジョンの作成を実施します。
- すべての診療所で「事業所マップづくり」を作成します。
- 広島医療生協の地域包括ケアの実現にむけて診療所を拠点とした医療介護と組合員活動との連携モデル事業を具体化します。
- 介護事業は新総合事業の導入により支援など軽度者が介護保険から外れ、行き場を失うことがないように、組合員活動と介護事業で連携し受け皿づくりを進めます。

(四) 被災者医療・被災者支援

- 国内外の被災者支援を続け、被災体験を継承します。
- 原発被災者支援を継続します。

(五) 介護分野の具体的な事業と運動

① 新規事業の具体化

- 小規模多機能型居宅介護事業を進めます。
- 県生協連などに結集し自治体訪問や市区社協訪問を行います。
- 県内生協による介護を含めた共同事業の具体化を検討します。

② 県北地域、東広島地域への介護事業所等展開の検討

- 新たな事業の可能性について研究します。

③ ひろびろの高齢者をくわらない取り組み

- 「こんな居場所があったらいいね交流会」在宅介護者の集いを開催します。
- 助け合い活動については生協内ケアマネージャーとの連携とともにサロンやたまり場を中心とした顔見知りによる助け合い(日常的な交流)を発掘拡充します。またたすけあい活動のコーディネーターの育成も目指します。

(六) 障がいのある人子供への支援

① 障がいのある人の働く場の提供と職場の受け入れ環境の整備を行います。

② 保育

- 第二保育園など次期構想の検討に入ります。

(七) 組合員の事業参加

- 理事会利用委員会で、各事業所の活動交流を引き続き行い、利用者の利用結集を進めます。
- ボランティア活動のあり方について継続して検討します。

## 6 明るくまはひろ

誰もが安心して住み続けられるまちづくりをすすめます。

(一) 平和と憲法を守る取り組み

① 原水爆禁止運動への貢献

- 原水爆禁止世界大会へ積極的に参加し、核兵器廃絶の運動に取り組みます。
- 国民平和大行進(東京コース・富山コース)に取り組みます。

② 地域に残る戦争体験の掘り起こしと継承を行います。

③ 戦争法を廃止し、憲法を守り生かす取り組み

- 戦争法の廃止を求める二〇〇〇万人統一署名を引き続きすすめます。
- 九条の会安佐地区ネットワークの会と協同して、学習会や署名行動を行います。

④ フクシマと連帯した活動、「原発ゼロ」の運動に取り組みます。

(二) 社会保障充実と増税反対の取り組み

- 一支部一要求運動を進展させ、広島市および安佐南区・安佐北区との懇談をすすめます。
- 無料低額診療事業を広く知らせます。
- 二〇一七年四月からの消費税の

## 7 組織ひろ

日常生活圏でのつながりを強め、医療福祉生協らしい地域包括ケアの実現に向け取り組みます。

(一) 地域のつながりひろ

- 一支部一たまり場ひろに取り組みます。
- 子どもの居場所ひろについて、生協全体で議論を進めます。

② 生活圏域での支部ひろや活動

- 「どんな地域に住みたいか？」の議論を大切にしながら生活圏での地域包括支援センターに対応する支部づくりを進めます。

③ 機関紙配布網の拡大

- 支部内100%に機関紙の配布網を広げ、これを目標にし、配布網を地域の見守り活動に活かします。

(二) 事業所と連携したくらしの助け合い・支えあひ安心のネットワークひろ

- 地域支部と介護事業所との連携や、ケア支部・ケア職場の協同の活動を強めます。
- 組織部の名称変更と役割の議論を行い、地域包括ケアをすすめる役割を明確にします。

## 8 経営・マネージメント

事業活動では、事業キャッシュフロー一四億二千万円以上を目標として必要利益を確保するために経常剰余目標は▲一億八千万円以上とし、次年度の収支均衡の展望を開きます。そのためにすべての事業所が計画した剰余目標の達成をめざします。

- ISO9001マネージメントシステムの改定を活かし、いっそう医療介護の質を高め、患者・利用者の満足度向上に役立てます。
- 法令遵守やリスク管理などの具体的目標をあげて内部統制の仕組みを構築し、機能させます。

## 9 専門職等の確保・養成

第六次長期計画を総括し、次の長期計画立案を行います。

(一) 医師の確保と養成

- 各診療科の医師体制を拡充し、医師労働軽減と医療活動拡大をすすめます。特に内科既卒医二人以上を確保します。
- 二〇一七年度の卒後初期研修医を定員の三名を確保します。

(二) 看護師をはじめとする専門職の確保に努めます。

(三) 介護職員の確保・育成に努めます。

- ① 介護職員の確保・育成に努めます。
- ② 主任ケアマネージャーの育成
- ケアマネージャー交流会議を行います。

生協四課題の到達状況(2016年3月15日現在)と2016年度目標

	2015年度		2016年度
	目標	到達	目標
加入	全体 2500人	1610人 支部 316人 事業所 1294人	全体 2500人
増資	1億5千万円 純増 5千万円	1億7962千円 支部 35215千円 事業所 72747千円 純増 3543千円	1億5千万円 純増 5千万円
増資者	8,000人	5,571人	8,000人
積立者	全体 0000人 支部 1500人 事業所 倍加	1235人 支部 780人 事業所 455人	全体 0000人 支部 1500人 事業所 倍加
班新班	班会 1500回 新班 60班	1002回(2月末) 14班(2月末)	班会 1500回 新班 60班
担い手づくり	健康チェック サポーター養成講座 くらしの学校	30人 長束教室1ヶ所(延べ40人)	各種講座等開催





# 「声の箱」よい

—理事会事業所利用委員会—

## 【声】

アルコール消毒過敏症のため、赤みがいつまでも残るので消毒する際に声かけしてもらいたい。検査着の上着の首のところに縫いつけてあるものがチクチクして痛い。

## 【回答】

採血に関する声かけが言葉足らずな対応で申しわけございませんでした。確認手順が健診センター採血部門では徹底されていませんでしたので、看護部に講師を依頼し採血マニュアルに沿って学習会を実施しました。消毒前の声かけ確認を徹底しました。検査着が新しく、不快を感じる方にはシャツを着用して頂くようご案内致します。

(健診事務課長)

### 俳句

主亡き椅子に座りし西行忌  
野辺送り一枝の桜賜りて  
花誘う案内板や無人駅  
美術館巡る備中梅日和

川柳  
合格のニュースで我が家祝い酒  
給付金頂きますが票はダメ  
（低所得高齢者向けの三万円はありがたく貰いますが、参院選目的でしょうか。票は売り物ではありませんよ）  
\*景気対策の一環として政府が決めた所得が低い年金受給者への臨時給付金

編集委員会選(第七十一回発表！)

川柳  
主亡き椅子に座りし西行忌  
野辺送り一枝の桜賜りて  
花誘う案内板や無人駅  
美術館巡る備中梅日和

俳句  
主亡き椅子に座りし西行忌  
野辺送り一枝の桜賜りて  
花誘う案内板や無人駅  
美術館巡る備中梅日和

川柳  
合格のニュースで我が家祝い酒  
給付金頂きますが票はダメ  
（低所得高齢者向けの三万円はありがたく貰いますが、参院選目的でしょうか。票は売り物ではありませんよ）  
\*景気対策の一環として政府が決めた所得が低い年金受給者への臨時給付金

# 3月 理事会だより

## 【2016年度の重点】

戦争法の強行、社会保障の改悪など平和と民主主義、生きる権利が大きく脅かされるなか、生活協同組合のしくみを活かして地域のいのちとくらしを支えます。

## 2016年度の基本方針(品質方針)

1. 誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざして医療福祉生協の地域包括ケアを広げます。
2. 事業運営の力を高め、4億以上の事業キャッシュフローを確保し、経営の安定を図ります。
3. 医師の確保を生協をあげて取り組み、理念を共有する組合員の育成をすすめます。
4. 様々な人々と力を合わせ、権利としての社会保障と戦争をしない国を守り抜きます。

## 【医療・購買生協の共同事業化の取り組み】～中間報告～

今年度より、広島県生協連での介護福祉事業での交流を土台に、安心して住み続けられるまちづくりに貢献できる共同事業の可能性を追求する機構を県生協連内につくり、活動を進めています。

2016年度は人的体制を補強し、事業構想づくりに着手する予定です。生協ではできない事業課題を生協間の協力の力で実現し、生協らしい地域づくりにつなげることを目指します。

## 【2月の経営】

		実績	予算
収益	医療生協全体	4億7181万円	2082万円超過
	入院(共立病院)	2億3874万円	2677万円超過
	外来(生協全体)	1億2976万円	1048万円超過
支出	事業費用	4億8499万円	1873万円超過
経常剰余		▲1504万円	2082万円超過

## 投稿募集中！氏名(ふりがな)・住所・年齢・電話番号をご記入の上、下記へ

コメントだけでなく、絵手紙、写真、俳句、短歌、川柳など、ジャンルは問いません。皆さまからの意見、要望などをお気軽にお送りください。  
※投稿いただいた文章は、内容を変えずに、表現を変更することがありますので、ご了承ください。  
※本紙は広島医療生協ホームページに掲載されます。

※いただいた原稿などは原則お返ししません。  
メール: [sosikibu@urban.ne.jp](mailto:sosikibu@urban.ne.jp)  
郵送: 〒731-0121 広島市安佐南区中須二丁目19-6  
広島医療生協 組織部  
組織部連絡先: TEL(082)879-8124  
FAX(082)879-8182

### 俳句

渡岡悠子選

ハムスター手のひらで逝く二月かな  
春が来た伸ばして見ようこの命  
窓辺より見下す路地の梅の花  
梅の花曇りのち晴れまた曇り  
春雪の斜め三十五度に荒れ  
春セーター吹きさらしで電車待つ  
夜勤明け丸めし白衣梅に似て  
春泥に足を取らるるダム工事  
見下ろして尾水道寒桜  
春めいて右のポケットに万歩計  
桃の日にばら寿司を買い卓かざる

吉井美智子  
宇和田カズ子  
野田八代子  
中村絹枝  
寺本東子  
石塚節子  
磯道一枝  
安永道子  
竹本旬子  
桑升幸子  
河野美智子

## 漢字クイズ

【問題】下記のあてはまる熟語を表から消して最後に残った漢字を並べかえて四字熟語にして下さい。

狛	木	天	養	花	河	丘	晴
致	風	日	取	糟	指	口	立
鳥	波	蕩	鬼	琴	悞	症	歩
遺	月	奨	下	靄	春	道	法
鉄	宿	顧	画	橋	点	拉	鳥
月	安	不	啄	瑠	風	進	駘
竜	異	菊	忸	捨	後	三	生
霹	糠	月	銀	密	保	砂	灯

- ①先月終わった朝ドラの主演女優
- ②宮沢賢治の代表作
- ③医者のお話
- ④晴天のへきれき
- ⑤砂風呂で有名な鹿児島温泉地
- ⑥法律に背いてひそかに鳥や獣を捕らえること
- ⑦日に日に驚くほどのはやさで進歩すること
- ⑧一月の初場所、十年ぶりに日本人力士で優勝を果たした大関
- ⑨鳥取にある自然観光地
- ⑩病氣や怪我が治った後に残る症状
- ⑪うち被害者
- ⑫貧しいころから苦勞を共にしてきた妻
- ⑬ほおずき
- ⑭がりようてんせい、物事の最後の大切な仕上げ
- ⑮日本三景は宮島、松島、奥の細道
- ⑯必要なものを残しいらないものは捨てること
- ⑰美しく変化する自然の風物をあらわす四字熟語
- ⑱自衛隊の海外での武力行使を可能にした法律
- ⑲中国の故事から出た「仲人役」の別のいい方
- ⑳さんこの礼 何度でも出向いてお願いすること
- ㉑きつつき
- ㉒じくじたる思い 大変恥ずかしいこと
- ㉓みんなが同じことを言うこと
- ㉔宛て先

## みんなで協同の医療をつくる人材募集中！

医師・医学部の学生・医学部受験生のご紹介をお願いします。

お問合せ先 広島共立病院 後継者育成室  
電話 082-879-1111(代表)

奨学金制度もあります

クイズ二月号の正解は、「益者三友」でした。

①遊説 ②音痴 ③扁桃 ④知能指数 ⑤芝蘭 ⑥一斉 ⑦藤原公任 ⑧駿馬 ⑨稼動 ⑩協同 ⑪温州 ⑫主従 ⑬鮫鯨 ⑭一寸 ⑮論語 ⑯丁髷 ⑰三嘆 ⑱卓袱 ⑲曲直瀬道三 ⑳梭子魚 ㉑醉母菌 ㉒煎餅 ㉓実践 ㉔瑞瑞 ㉕瑞西

正解者は四十一人でした。当選者(敬称略)  
梶川美佐子(三次市)  
細野 泰志(安東)  
旗手 由香(古市)  
日野 艶子(大町西)  
氏家 雪子(安東)

# 「声の箱」よい

—理事会事業所利用委員会—

## 【声】

アルコール消毒過敏症のため、赤みがいつまでも残るので消毒する際に声かけしてもらいたい。検査着の上着の首のところに縫いつけてあるものがチクチクして痛い。

## 【回答】

採血に関する声かけが言葉足らずな対応で申しわけございませんでした。確認手順が健診センター採血部門では徹底されていませんでしたので、看護部に講師を依頼し採血マニュアルに沿って学習会を実施しました。消毒前の声かけ確認を徹底しました。検査着が新しく、不快を感じる方にはシャツを着用して頂くようご案内致します。

(健診事務課長)

# 3月 理事会だより

## 【2016年度の重点】

戦争法の強行、社会保障の改悪など平和と民主主義、生きる権利が大きく脅かされるなか、生活協同組合のしくみを活かして地域のいのちとくらしを支えます。

## 2016年度の基本方針(品質方針)

1. 誰もが安心して住み続けられるまちづくりをめざして医療福祉生協の地域包括ケアを広げます。
2. 事業運営の力を高め、4億以上の事業キャッシュフローを確保し、経営の安定を図ります。
3. 医師の確保を生協をあげて取り組み、理念を共有する組合員の育成をすすめます。
4. 様々な人々と力を合わせ、権利としての社会保障と戦争をしない国を守り抜きます。

## 【医療・購買生協の共同事業化の取り組み】～中間報告～

今年度より、広島県生協連での介護福祉事業での交流を土台に、安心して住み続けられるまちづくりに貢献できる共同事業の可能性を追求する機構を県生協連内につくり、活動を進めています。

2016年度は人的体制を補強し、事業構想づくりに着手する予定です。生協ではできない事業課題を生協間の協同の力で実現し、生協らしい地域づくりにつなげることを目指します。

## 【2月の経営】



		実績	予算
収益	医療生協全体	4億7181万円	2082万円超過
	入院(共立病院)	2億3874万円	2677万円超過
	外来(生協全体)	1億2976万円	1048万円超過
支出	事業費用	4億8499万円	1873万円超過
経常剰余		▲1504万円	2082万円超過

## 投稿募集中! 氏名(ふりがな)・住所・年齢・電話番号をご記入の上、下記へ

コメントだけでなく、絵手紙、写真、俳句、短歌、川柳など、ジャンルは問いません。皆さまからの意見、要望などをお気軽にお送りください。  
 ※投稿いただいた文章は、内容を変えずに、表現を変更することがありますので、ご了承ください。  
 ※本紙は広島医療生協ホームページに掲載されます。

※いただいた原稿などは原則お返ししません。  
 メール: [sosikibu@urban.ne.jp](mailto:sosikibu@urban.ne.jp)  
 郵送: 〒731-0121 広島市安佐南区中須二丁目19-6  
 広島医療生協 組織部  
 組織部連絡先: TEL(082)879-8124  
 FAX(082)879-8182

## 川柳

合格のニュースで我が家祝い酒 (おめでとうございます)

中筋 湯浅 博明

給付金頂きますが票はダメ (低所得高齢者向けの三万円はありがたく貰いますが、参院選目的でしょうか。票は売り物ではありませんよ)

大町西 日野 艶子

## 俳句

主亡き椅子に座りし西行忌

昆沙門台 山田 清子

花誘う案内板や無人駅 美術館 巡る備中梅日和

緑井 小杉 慶江

## 川柳・俳句・短歌コーナー

編集委員会選(第七十一回発表)



## 俳句

渡岡悠子選

ハムスター手のひらで逝く二月かな 吉井美智子  
 春が来た伸ばして見ようこの命 宇和田カズ子  
 窓辺より見下す路地の梅の花 野田八代子  
 梅の花曇りのち晴れまた曇り 中村絹枝  
 春雪の斜め三十五度に荒れ 寺本東子  
 春セーター吹きさらしで電車待つ 石塚節子  
 夜勤明け丸めし白衣梅に似て 磯道一枝  
 春泥に足を取らるるダム工事 安永道子  
 見下ろして尾水道寒桜 竹本旬子  
 春めいて右のポケットに万歩計 桑升幸子  
 桃の日にばら寿司を買い卓かざる 河野美智子

## 漢字クイズ

【問題】下記のあてはまる熟語を表から消して最後に残った漢字を並べかえて四字熟語にして下さい。

狛	木	天	養	花	河	丘	晴
致	風	日	取	糟	指	口	立
鳥	波	蕩	鬼	琴	悞	症	歩
遺	月	奨	下	靄	春	道	法
鉄	宿	顧	画	橋	点	拉	鳥
月	安	不	啄	瑠	風	進	駘
竜	異	菊	忸	捨	後	三	生
霹	糠	月	銀	密	保	砂	灯

- ①先月終わった朝ドラの主演女優
- ②宮沢賢治の代表作
- ③医者のお話
- ④晴天のへきれき
- ⑤砂風呂で有名な鹿児島温泉地
- ⑥法律に背いてひそかに鳥や獣を捕らえること
- ⑦日に日に驚くほどのはやさで進歩すること
- ⑧一月の初場所、十年ぶりに日本人力士で優勝を果たした大関
- ⑨鳥取にある自然観光地
- ⑩病氣や怪我が治った後に残る症状
- ⑪うち被害者
- ⑫貧しいころから苦労を共にしてきた妻
- ⑬ほおずき
- ⑭がりようてんせい、物事の最後の大切な仕上げ
- ⑮日本三景は宮島、松島、

- ⑯必要なものを残しいらないものは捨てること
- ⑰美しく変化する自然の風物をあらわす四字熟語
- ⑱自衛隊の海外での武力行使を可能にした法律
- ⑲中国の故事から出た「仲人役」の別のいい方
- ⑳さんこの礼 何度でも出向いてお願いすること
- ㉑きつつき
- ㉒じくじたる思い 大変恥ずかしいこと
- ㉓みんなが同じことを言うこと
- ㉔宛て先 七三二〇二二 広島市安佐南区中須二丁目一九一六
- ◇広島医療生活協同組合 縮切は五月三十一日



## みんなで協同の医療をつくる人材募集中!

医師・医学部の学生・医学部受験生のご紹介をお願いします。

お問合せ先 広島共立病院 後継者育成室 奨学金制度もあります  
電話 082-879-1111(代表)



クイズ二月号の正解は、「益者三友」でした。  
 ①遊説 ②音痴 ③扁桃 ④知能指数 ⑤芝蘭 ⑥一斉  
 ⑦藤原公任 ⑧駿馬 ⑨稼動  
 ⑩協同 ⑪温州 ⑫主従 ⑬鮫鯨 ⑭一寸 ⑮論語 ⑯丁髷 ⑰三嘆 ⑱卓袱 ⑲曲直瀬道三 ⑳梭子魚 ㉑醉母菌 ㉒煎餅 ㉓実践 ㉔瑞瑞 ㉕瑞西

正解者は四十一人でした。当選者(敬称略)

梶川美佐子(三次市)

細野 泰志(安東)

旗手 由香(古市)

日野 艶子(大町西) 氏家 雪子(安東)